

あかつき



あかるく かがやく つしまの きぼうのおか

津島市立暁中学校便り

令和5年1月25日(水)

大寒です

先週1月20日(金)は、二十四節気の「大寒」でした。一年中で最も寒い時季ということだそうです。二十四節気では、「大寒」の次は「立春」となります。この暦の上では、春がすぐそこまでやってくることとなります。実際の天候とは少々違いがあるようですが、古くからある言葉からイメージを膨らませることも楽しいものです。

この大寒を使った故事成語に、「小寒の氷 大寒に解く」というものがあります。これは、「寒さが最も厳しいはずの大寒が、小寒よりも暖かなこと。物事が必ずしも順序どおりにいかないことのたとえ」です。長い人生では、このようなことに遭遇することもあると思います。これからの時代を生きていく暁中生には、どのような場面でも、しなやかにたくましく対応することができるよう成長していくことを期待しています。



新しい入試制度で

昨年度末からお知らせしていますように、愛知県では今年度より公立高等学校の入試制度が新しくなりました。それに伴い、私立高等学校・専修学校等の入試日程が、例年よりも早くなっています。

先週1月16日(月)には推薦入試があり、20日(金)から今週24日(火)にかけて一般入試が実施されました。受験した生徒にとっては、冬休み明けであり、新年早々ということで、気持ちの切り替えが大変難しかったことが想像されます。今後は、2月上旬に公立高等学校の推薦選抜、下旬には一般選抜が予定されています。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ等心配ではありますが、受験する生徒には、しっかりと健康管理をして、万全の体調で臨んでほしいと思います。そして、入学検査当日に、実力を十分に発揮できることを祈っています。



一日のスタートは、さわやかなあいさつから

1月18日(水)から3月15日(水)まで、毎週水曜日の朝、あいさつ運動が行われています。これは、生徒会執行部の企画で、執行部と各クラスの議員が昇降口で呼びかけます。また、給食時の放送や各クラスのSTの時間には、感想発表や呼びかけ等の啓発活動が行われます。さわやかなあいさつで始まる一日は、きっとよい日になるに違いありません。

生徒会から発信されたこの活動で、全校生徒が一体となり、さらによい暁中学校になることを期待しています。